

令和7年度 熊本県立大学 環境共生学部 環境共生学科 環境資源学専攻
農業・林業・水産・工業科学学校推薦型選抜 小論文 出題意図

気候変動、生物多様性、生態系サービスに関する基礎的で幅広い知識力、問題の理解力および文章の表現力を問うた。環境省が発行する「令和5年度版 環境・循環型社会・生物多様性白書」の一部を抜粋した。

問題1 生態系サービスの理解力とともに、内容を説明するための文章の表現力を問うた。

問題2 文章の理解力、自分が関心を持っている窒素循環に関する基礎的な知識力、文章の構成力および表現力を問うた。以下の観点から評価した。

- (i) テーマの把握（テーマを正しく読みとっているか？）
- (ii) 表現力（主語・述語・誤字・脱字・字数制限）
- (iii) 妥当性（論理的か？）
- (iv) 具体性（データ、他国の例、新聞記事、自己の体験、反対意見、などを駆使しているか？）
- (v) 視野の広さ（客観的であるか？）

問題3 自分が関心を持っている生物多様性の損失を解決するための、発想力、文章の構成力を問うた。上述の観点から評価した。